

# 譲渡及び譲受契約書《例》

**【ご注意】**  
この契約書例は、弊所が独自に想定した仮のケースにのみ、適用され得るものです。  
これに類似する場合でも、契約個別によって、記載内容に異なりが生じますので、一例としてご覧くださいませ。

## 契約条項

### 【頭書】

譲渡者〔甲〕 住所 ○○○○・・・・・・・・・

同上 氏名又は名称 ○○○○

譲受者〔乙〕 住所 ○○○○・・・・・・・・・

同上 氏名又は名称 ○○○○

### 譲渡及び譲受される動物〔対象動物〕についての譲渡者告知

① 動物の種類	
② 名前	
③ 年齢又は月齢	
④ 血統書	例) あり ・ なし
⑤ 譲渡者所有開始	例) 平成○○年○○月○○日
⑥ 譲渡者取得原因	例①) ペットショップ○○○にて購入 例②) 前所有者より譲受
	例③) 譲渡者先住(犬・猫)の仔・・・等
⑦ 今回譲渡の理由	
⑧ 今回譲受の経緯	例①) 知人からの紹介 例②) 譲渡者の広告○○○への応募
	例③) 譲渡者の依頼
⑨ 予防接種等	例①) 済(種類:○○○○ 平成○○年○○月) 例②) 未・・・等
⑩ 既往症	例①) あり(内容:適宜通院加療中) 例②) なし・・・等
⑪ 直近の健康診断	
⑫ 事故歴	
⑬ 行政への登録	例①) 済(登録先:平成○○年○月○日) 例②) 未・・・等
⑭ 譲渡者からの引継事項	
⑮ 譲受者へ渡す書類等	例①) ワクチン接種証明書
	例②) ○○病院診察券(コピー)
	例③) 鑑札 ・ ・ 等

第 1 頭書記載の譲渡者(以下、「甲」といいます。)は、同記載の譲受者(以下、「乙」といいます。)に対し、同記載の譲渡及び譲受される動物(以下、「対象動物」といいます。)を無償で譲り渡し、乙は、これを譲り受けるものとします。

(引渡し)

第 2 甲は、平成○○年○○月○○日までに、対象動物についての乙の完全な所有権の行使を阻害する一切を滅したうえ、対象動物を○○○○の方法により、乙に引渡すものとします。

(所有権の移転)

第 3 対象動物についての所有権は、前記「第2」の引渡しを以て、完全に甲から乙に移転するものとし、以降、甲は、対象動物についての乙の飼養内容等について一切干渉を行わないものとします。なお、対象動物についての乙の完全な所有権の行使を阻害する事実が存在した場合、甲は、乙及び当該動物についての権利を有する第三者が被った損害について、一切の責を負うものとします。

(引渡し後)

第 4 乙は、頭書記載の対象動物についての事項を承知したうえ、対象動物を譲り受けるものとし、対象動物に疾患、疾病、外傷又は引渡し時において判明していない先天性異常等の隠れた瑕疵が存在した場合若しくは対象動物の性格、性質、個体上の特徴等により飼養等に支障をきたす場合においても、これに起因し生ずる費用等の一切を負担するものとし、甲に対し、補償・賠償等名目の一切を問わず、請求しないものとします。

2 本書左記の譲渡者告知について甲の虚偽が判明した場合、乙は、本契約を解除し、対象動物を甲に引き取らせることができます。また、この場合、甲は、乙が飼養するにあたり要した費用一切及び乙から甲への返還引渡しのために乙が要する費用一切を負担するものとします。

3 乙は、関係法令及び道徳に従い、自身の重篤な疾病等、健康上の理由により対象動物の飼養継続が困難になる場合を除き、対象動物を終生飼養するものとします。

本契約成立の証左として、本契約書を2通作成し、甲乙は、各1通を保有するものとします。

○○○○年○○月○○日

甲 ..... 印

乙 ..... 印